

清流
川メール

発行日／令和5年1月1日
 発行／静岡県河川協会
 (事務局：交通基盤部河川砂防局内)
 E-mail:kasenk_shizuoka@yahoo.co.jp
 HP:https://shizuoka-kasenk.com/
 〒420-8601 静岡県静岡市葵区追手町9番6号
 TEL：054-221-3032 FAX：054-221-3260



大瀬まつり踊り船 (提供:沼津市)



初川 (熱海市)

C O N T E N T S

新春挨拶&河川協会の取り組み

静岡県河川協会長新春挨拶	1
静岡県河川協会河川等功労者表彰	1
令和4年度河川関係事務研修会	1
令和4年度中部地方治水大会	2
治水事業促進全国大会・災害復旧促進全国大会	2
河川・海岸、道路愛護団体を表彰しました!	2

県内のトピックス

令和4年台風15号の概要と被害状況	3
令和4年8月、9月豪雨による浸水被害	6
中小河川における洪水浸水想定区域図の公表	7
県内市町との意見交換会を開催しました	7
キキクルの表示する色の変更をサイポスレーダーに反映	7
伊豆半島沿岸の高潮浸水想定区域図の公表	8
津波災害警戒区域の指定に向けた取組	8
馬込川水門インフォメーションセンター開設	9
馬込川水門チャンネル (YouTubeチャンネル) 開設	9

わがまちの川自慢

静岡市・清水町	10
---------	----

インフォメーション

河川堤防のリモコン式草刈り機による除草	11
「奥野ダム一日ダム教室」(7月27日開催)	11
事務局お知らせ、個人会員募集	11

静岡県河川協会長新春挨拶

令和5年の新たな年を迎え、謹んで新春の御挨拶を申し上げます。

会員をはじめ関係機関の皆様には、日頃から河川・海岸事業の推進及び当協会の運営に深い御理解と温かい御支援を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、台風15号の影響により、9月23日から24日にかけて記録的な大雨に見舞われ、県内の中部・西部を中心に、広域的・同時多発的に浸水被害や土砂災害が発生いたしました。

今般の豪雨は、治水計画の目標水準を上回る出水でありますことから、河川の整備を着実に実施するとともに、流域のあらゆる関係者が協働して行う「流域治水」の取組を強力に推進して、地域住民の「安全・安心」を確保しなければなりません。

当協会におきましては、国への要望活動や治水事業の一層の促進に向け、積極的な事業展開を図ってまいりますので、引き続きの御支援、御協力をよろしくお願いいたします。



静岡県河川協会

会長 頼重秀一（沼津市長）

静岡県河川協会河川等功労者表彰

河川等功労者表彰は、県内の治水、利水をはじめ、河川等の環境美化、水防活動等に多大な功績が認められた団体や個人を表彰する制度です。今年度は、3団体2個人が受賞されました。賞状と記念品を贈り、受賞者の功績を称えました。受賞された皆様の御尽力と御苦勞に対し、心から敬意を表しますとともに、深く感謝申し上げます。

市町名及び支部	氏名または団体名	主 な 功 績
富士宮市	小泉5区リバーフレンド 様	平成28年から久遠寺川の清掃活動を実施しています。また、日頃から朝夕ゴミ拾いを行いながら、小学生へのあいさつ活動や見回りを行っており、地域の安心安全や河川愛護意識の普及に大きく貢献しています。
静岡市	山本 幸之助 様	12年間樋管の操作業務に従事しています。樋管の点検操作と洪水時の待機及びゲートの開閉作業を行い、住民の生命と財産を洪水時の被害から守るため、昼夜を問わず大雨による出水に備えています。
藤枝市	青島第8自治会 様	地域を流れる内瀬戸谷川等の草刈および清掃活動を年数回、町内会役員が中心となり、流域町内会員333人が実施しています。草刈りやごみ、空き缶を拾い河川の美化活動に実績をあげています。
藤枝市	藤枝第9自治会 様	地域を流れる葉梨川等の草刈および清掃活動を年4回、町内会役員が中心となり、流域町内会員155人が実施しています。草刈りやごみ、空き缶を拾い河川の美化活動に実績をあげています。
浜松市	北林 速 様	平成22年に入団、平成28年からは分団長として、分団内の取りまとめや新人団員への指導監督を行いました。地域における水防活動の中心として、責任感と強い意欲をもち、分団員や地域住民から信頼を得ており、分団活動へ多大な貢献をしています。

※今年度の表彰式につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策の観点から中止といたしました。

令和4年度河川関係事務研修会

令和4年9月7日に「令和4年度河川関係事務研修会」を静岡市(札の辻クロスホール)で開催し、会員(市町の実務担当者)や賛助会員等39名が参加しました。

研修会では、東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター 関谷 直也氏が「災害情報と避難行動」と題して、災害心理や、避難情報の課題、実際の災害時のメディア利用について、わかりやすく御講演いただきました。

また、市町等事例発表として静岡市下水道計画課 柴山 武宜氏に「静岡市の浸水対策」として、過去の浸水被害状況を例に、浸水対策推進プランや雨水総合排水計画等について、また、三島市水と緑の課 井手 幸治氏に「一級河川境川“清住緑地”の整備について」として、境川の整備や維持管理、その事業効果について発表していただきました。さらに、河川実務講習会として、県の河川砂防局職員4名から、「流域治水の取組」や「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」など、最近の河川行政の取組についての講習を行いました。

令和4年度中部地方治水大会

令和4年10月19日に長野県諏訪市(ホテル紅や)にて、「令和4年度中部地方治水大会」が開催されました。この大会は、治水事業の重要性を広く喚起するとともに、国会、政府並びに関係当局に対し、治水利水事業の強力な推進、災害発生時の速やかな対応と多様な治水対策の措置などを提言するために行われ、中部5県の治水関係者等が参加しました。本県からは、関義弘清水町長、藺田靖邦川根本町長を含む4名が参加しました。

大会は、主催者挨拶に始まり、開催地首長挨拶、来賓祝辞、国土交通省水管理・国土保全局職員と中部地方整備局職員による治水事業概要説明、木曾町長による意見発表が行われ、最後に、大会決議を採択し、次期(令和5年度)開催県を岐阜県に決定しました。なお、令和6年度の開催県は本県となります。



中部地方治水大会

治水事業促進全国大会・災害復旧促進全国大会

令和4年11月16日、治水事業費を確保する運動の一環として、「令和4年度治水事業促進全国大会」が砂防会館別館(東京都千代田区)で開催され、本県からは草地博昭磐田市市長、菊地豊伊豆市長、関義弘清水町長、藺田靖邦川根本町長に御参加いただきました。大会終了後には、本県選出国會議員19名に対して要望活動を行いました。

また、同年11月17日、災害復旧事業の促進と防災対策の強化推進を要望するため、「令和4年度災害復旧促進全国大会」が砂防会館別館(東京都千代田区)で開催され、本県から9名が参加しました。全国各地の災害復旧事業又は災害の防止事業に関し、長年に渡り献身精励し、顕著な功績があった個人及び団体が表彰され、県内から、古屋 徹之氏、澤野和隆氏、協同組合熱海建設業協会の2名1団体が表彰されました。大会終了後、本県選出国會議員19名に対して要望活動を行いました。

近年は、豪雨災害が頻発しており、被害も大きくなっていることから、今後も積極的な要望活動を行います。



治水事業促進全国大会



災害復旧表彰者

河川・海岸、道路愛護団体を表彰しました！

県では、県民の暮らしを支える大切な財産である河川や海岸、道路の愛護思想の普及を図っており、7月の「河川愛護月間」「海岸愛護月間」、8月の「道路ふれあい月間」において、重点的な取り組みを進めています。

その一環として、長年にわたり愛護活動に尽力し、その功績が特に顕著である個人や団体に対し、知事表彰を行っています。令和4年度は、3年ぶりに県庁での表彰式を行うことができ、河川海岸関係では4団体への表彰を行いました。

今後とも受賞された皆様の御活躍により住みやすい地域づくりが推進されるとともに、愛護活動の輪が広がっていくことを期待しております。

受賞団体:松川周辺地区まちづくり推進協議会(伊東市)、葉梨第2自治会(藤枝市)、岡部第4自治会(藤枝市)、寺島河川愛護会(浜松市)



寺島河川愛護会の愛護活動の様子



森副知事との記念撮影

令和4年台風15号の概要と被害状況

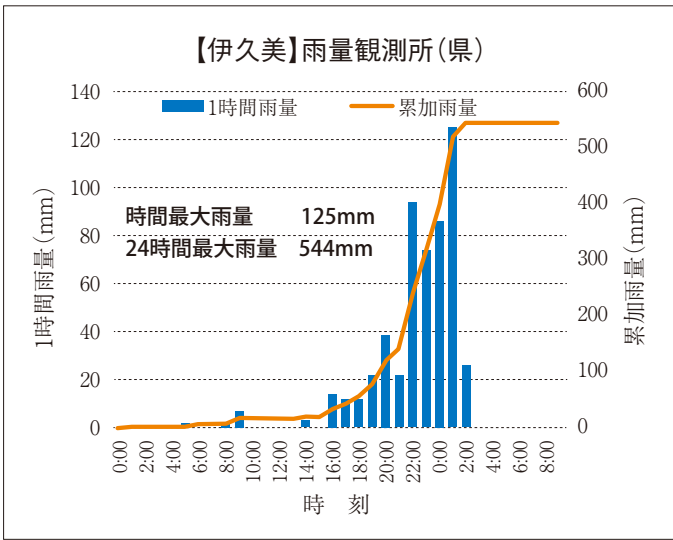
降雨の概要

9月23日9時に室戸岬の南約300キロで発生した台風15号が北上し、24日未明に東海道沖に達した後、24日9時に温帯低気圧に変わりました。

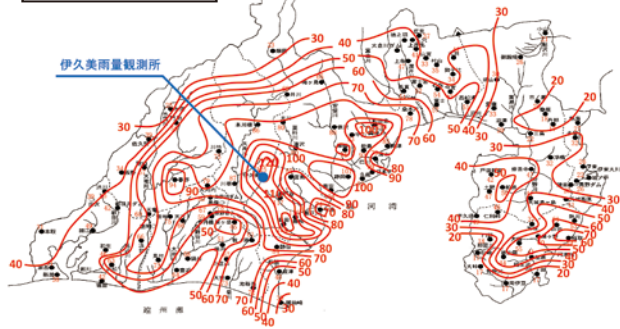
台風15号の勢力はそれほど強くなかったものの、県内では、台風からの暖かく湿った空気が入り込んだ影響で大気の状態が非常に不安定となり、全域で大雨となりました。

特に、23日夜遅くから24日未明にかけて、台風の北側に形成されたシアライン（風の流れが変化する境界線）の影響で線状降水帯が発生したこともあり、中部では時間雨量で100mmを超える記録的な大雨となりました。

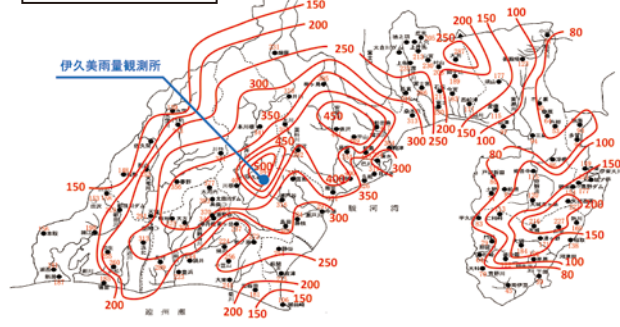
伊久美雨量観測所（島田市伊久美）では、時間最大雨量125mm、24時間最大雨量544mmという記録的な雨量が観測されました。



等雨量線図
令和4年9月23日～24日
(時間最大雨量)



等雨量線図
令和4年9月23日～24日
(24時間最大雨量)



静岡県交通基盤部所管の公共土木施設被害状況

静岡県交通基盤部所管の公共土木施設被害状況
(令和4年11月18日時点)

工 種	県 (箇所数)	市町 (箇所数)	小計 (箇所数)	政令市(箇所数)		合計 (箇所数)
				静岡市	浜松市	
河川	266	40	306	71	1	378
海岸	0	0	0	0	0	0
砂防設備	12	0	12	0	0	12
急傾斜地崩壊防止施設	5	0	5	0	0	5
道路	37	38	75	67	32	174
橋梁	0	4	4	1	0	5
下水道	0	0	0	3	0	3
公園	3	1	4	12	0	16
港湾	6	0	6	0	0	6
合 計	329	83	412	154	33	599

県内では、台風15号の影響で、23日夜から24日にかけて猛烈な雨が降り続き、県中西部地域を中心に道路や河川などの公共土木施設の被害が多数発生しました。公共土木施設被害は、県災害、市町災害（政令市含む）合わせて599箇所、約361億円となっています。（令和4年11月18日時点）

令和4年12月の国による災害査定を経て、復旧工事費を決定します。



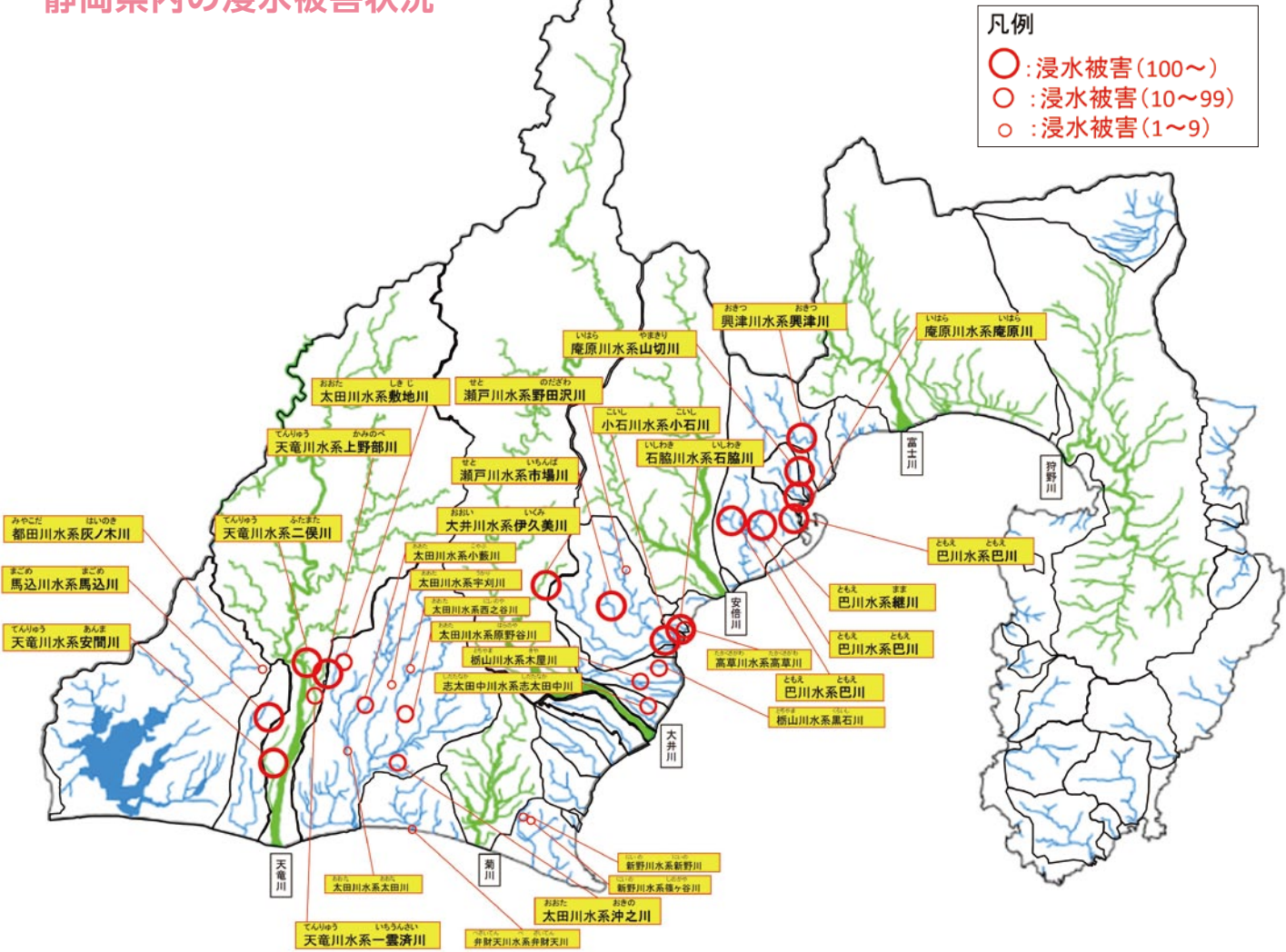
被災状況
((主)袋井春野線 路肩決壊)



被災状況
(二級河川興津川 護岸決壊)

静岡県内の浸水被害状況

(令和4年12月13日時点)



(二) 巴川(静岡市清水区)



(二) 原野谷川(掛川市)

家屋浸水被害(戸)			
市 町	床 上	床 下	合 計
富士市	0	2	2
静岡市	4,253	1,528	5,781
島田市	59	101	160
焼津市	220	199	419
藤枝市	172	108	280
牧之原市	21	63	84
吉田町	0	8	8
川根本町	0	4	4
浜松市	472	1,470	1,942
磐田市	299	474	773
掛川市	9	102	111
袋井市	111	159	270
御前崎市	0	3	3
菊川市	4	73	77
森 町	23	54	77
	5,643	4,348	9,991

二級河川巴川の状況

静岡市を流れる巴川では、流域全体で治水安全度の向上を図るため、総合治水対策に取り組んでおり、これまでに大谷川放水路や遊水地の整備を実施してきました。現在、整備を進めている麻機遊水地では、第1工区、第3工区、第4工区の整備が完了し、第2工区においても、10年に1回程度の発生が想定される降雨に対応するため、整備を進めています。

静岡市では、台風15号に伴う豪雨により、地方気象台観測所で時間最大雨量107mm、24時間雨量415mmを観測し、昭和49年七夕豪雨に次ぐ大規模な浸水被害が発生しました。当時の浸水範囲と比較すると、大谷川放水路や麻機遊水地の治水効果により、浸水面積が大幅に縮小されています。

しかし、現状では、今回のように計画規模以上の降雨が発生すると浸水被害が発生してしまうことから、治水対策の根幹である河川改修をはじめ、流域治水の考え方に基づく流域対策を併せて進めることで、治水安全度を高めていく必要があります。



巴川流域の浸水被害状況

一級河川安間川の状況

浜松市を流れる安間川では、平成12年度から広域河川改修事業により、10年に1回程度の発生が想定される降雨に対して、河川整備を進めています。平成30年には、先行的に整備を進めてきた安間川遊水地が供用開始し、現在は東海道新幹線交差部から、上流に向けて河道拡幅を実施しています。今回の台風15号に伴う豪雨では、浜松市の浜北雨量観測所で時間最大雨量66mm、24時間雨量で313mmを観測し、安間川の中上流域において大規模な浸水被害が発生しました。

安間川遊水地では、洪水の一部が遊水地へ流入し、安間川本川の水位低減効果が得られましたが、近年の頻発化・激甚化する豪雨に対して、十分とは言えない状況にあります。このため、安間川流域では、引き続き、河川改修と水災害対策プランに基づく流域対策を着実に進めていかなくてはなりません。



安間川遊水地位置図



越流状況

台風15号を踏まえた今後の展開

堤防や護岸などが被災した箇所については、災害復旧事業等により早期の復旧を図ります。また、河川の流下能力不足などにより浸水被害が発生した河川については、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」などを活用し河川改修を進めるとともに、堆積土砂の排除等により治水安全度の向上を図ります。

現在、県では、流域治水を着実に推進するために、総合的な治水対策の全体像を示す「流域治水プロジェクト」と、浸水被害が頻発する地区を対象に被害の軽減を図ることを目的とした「水災害対策プラン」の策定を進めています。台風15号等による被災状況を踏まえ、関係者間で情報を共有するとともに、施策の追加や見直しを速やかに行い、流域治水の取組を効果的・重点的に推進していきます。また、「流域治水プロジェクト」及び「水災害対策プラン」が未策定の地区においては、各関係者における施策の調整を行い、早期に計画策定を進めます。

引き続き治水対策に関する関係部局と連携し、河川改修や流域対策、住民の水害リスクに対する理解促進の取組等、ソフト対策など、減災に向けた取組を進めていきます。

令和4年8月、9月の豪雨による浸水被害

豪雨の激甚化・頻発化の影響により、台風15号のほかにも、豪雨による被害が発生しております。

8月13日の夜から14日未明にかけては、台風8号の接近により、伊豆半島を中心に、非常に激しい雨となりました。この雨の影響により、松崎町では、雲見地区の中心部を流れる準用河川太田川が氾濫し、約30戸の家屋浸水被害が発生しました。



準用河川太田川(松崎町)



浸水被害の様子

また、9月2日には、県西部を中心に局地的な豪雨となり、浜松市や磐田市では記録的短時間大雨情報が発表され、時間最大雨量100mmを超える雨を観測しました。この雨の影響により、浜松市では、床上浸水47戸、床下浸水123戸の家屋浸水被害が発生しました。



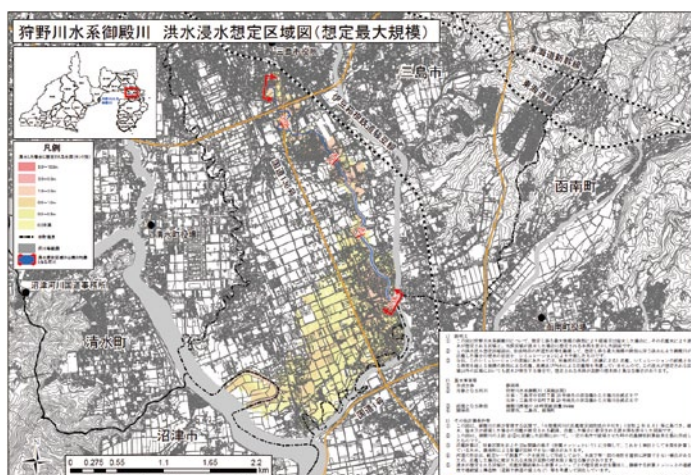
二級河川馬込川(浜松市浜北区)



一級河川安間川(浜松市東区)

中小河川における洪水浸水想定区域図の公表

令和元年東日本台風では、洪水浸水想定区域図が作成されていない洪水予報河川、水位周知河川以外の中小河川で氾濫被害が発生し、リスク周知の在り方が問題となりました。このため、県では、県管理河川520河川のうち、既に作成が完了している洪水予報河川・水位周知河川の59河川と、保全対象がない14河川を除く447河川の洪水浸水想定区域図の作成に着手しており、令和4年6月末に118河川の洪水浸水想定区域図を公表しました。残りの約300河川についても準備が整い次第、順次公表を行っていきます。



狩野川水系御殿川 洪水浸水想定区域図

県内市町との意見交換会を開催しました

近年、気候変動の影響に伴い災害が年々激甚化・頻発化しており、防災の考え方は、従来から行われてきた堤防や護岸といった施設整備と流域対策やリスク情報の周知、土地利用誘導などを組み合わせた、“地域総ぐるみの減災”へと転換期を迎えています。

こうした取組を着実に推進していくために、8月～9月にかけて、各土木事務所単位で管内市町の建設・防災担当者との意見交換会を開催しました（浜松市・湖西市は今後開催予定）。

県からは、河川砂防局長をはじめ、河川砂防局と土木事務所の担当者が出席し、災害時における情報提供の在り方や流域貯留の課題、河川の維持管理に関する要望など、多岐に渡って議論が交されました。

令和4年の台風15号のような、“施設で守り切れない災害が起こりうる”という現実を受け止め、これからも県と市町が連携して減災に取り組んでいきます。



意見交換会の開催状況（沼津土木）

キキクルの表示する色の変更をサイボスレーダーに反映

サイボスレーダーでは、令和3年3月から、気象庁の提供している洪水警報の危険度分布（洪水キキクル）を搭載し、危険度の高まりを5段階に色分けして地図上に示し、危険度を点でなく、面的に確認することができるようになりました。

令和4年6月30日からは、気象庁によりキキクルと内閣府の災害警戒レベルの色分けを一致させるため、従来の「うす紫」と「濃い紫」が統合され、警戒レベル4相当の「紫」になり、警戒レベル5相当の「黒」が新設されました。内閣府では、住民がとるべき行動は、レベル4で「危険な場所から全員避難」、5で「命の危険、直ちに安全確保」と示されています。

サイボスレーダー上でも、色の変更を反映し、発信していますので、大雨の際にはサイボスレーダーをご活用ください。

現行のキキクル		これまでのキキクル	
色	警戒レベル	色	警戒レベル
黒	5 相当	濃い紫	—
紫	4 相当	薄い紫	4 相当
赤	3 相当	赤	3 相当
黄色	2 相当	黄色	2 相当
白（水色）	—	白（水色）	—

色分けの変化（気象庁HPより）



サイボスレーダー画面（搭載後）



■パソコン・スマートフォンから
<http://sipos.pref.shizuoka.jp/>

サイボスレーダーURL、QRコード

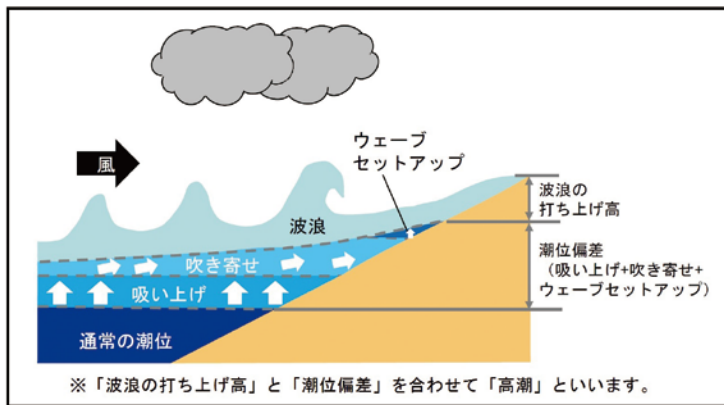
伊豆半島沿岸の高潮浸水想定区域図の公表

県では、令和4年10月19日に伊豆半島沿岸(沼津市大瀬崎から東伊豆町まで)の高潮浸水想定区域図を公表しました。これは、既往最大規模である室戸台風級の台風が来襲し、想定し得る最大規模の高潮による氾濫が発生した場合の浸水状況を解析したもので、浸水範囲や浸水深、浸水継続時間の情報を表示しています。

本区域図は、高潮による浸水の危険性を住民の皆様にお知らせするとともに、関係機関が連携して避難等の対策を講じていくことを目的として作成したものであり、これまでに伊豆半島沿岸(熱海市から伊東市まで)及び駿河湾沿岸(御前崎市御前崎から沼津市大瀬崎まで)の区域図を公表済みです。残る遠州灘沿岸につきましても、現在区域図の作成を進めており、令和5年度の公表を目指しています。

今後も引き続き、関係市町と連携して、高潮に対する水防の強化及び避難体制の充実に向け、減災対策に取り組んでいきます。

※公開URL(<http://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-320/measures/takashio2.html>)



高潮の発生メカニズム



下田市高潮浸水想定区域図(一部拡大)

津波災害警戒区域の指定に向けた取組

県では、東日本大震災の甚大な津波被害を教訓に施行された「津波防災地域づくりに関する法律」に基づき、ハード・ソフトを併せた様々な施策を実施することで津波による被害を防止・軽減し、将来にわたって安心して暮らすことができる安全な地域の実現を目指す「津波防災地域づくり」に取り組んでいます。

この取組の一つとして、いざという時に住民等が津波から「逃げる」ことができるよう警戒避難体制を強化する区域である「津波災害警戒区域」の指定を進めています。

県内では、これまでに区域を指定した6市町(下田市、伊豆市、東伊豆町、河津町、南伊豆町、松崎町)に加え、令和5年3月末までに新たに7市(静岡市、沼津市、熱海市、伊東市、富士市、湖西市、御前崎市)において区域を指定するため、現在、説明会を開催するなど指定に向けた準備を進めています。指定する区域等を広く周知するため、令和4年12月20日から令和5年1月20日の間において、区域指定案の事前公表を行います。

今後も引き続き、市町と連携し、区域を指定した市町における警戒避難体制の強化を進めるとともに、未指定の8市町についても区域の指定に向けた取組を進めていきます。



津波防災地域づくりのイメージ



説明会の開催状況

馬込川水門インフォメーションセンター開設

県浜松土木事務所では、浜松市沿岸域における津波対策の最後の要として、馬込川の河口部において馬込川水門の建設を進めています。水門の建設事業を広くお知らせし、理解を深めていただく場として令和4年7月7日に「馬込川水門インフォメーションセンター」を開設しました。

インフォメーションセンターのオープン初日には、最初の視察者として、浜松市立新原小学校6年生70名が見学を訪れ、水門の役割などを学びました。

センター内は、「水門工事ゾーン」、「津波対策事業・防潮堤ゾーン」、「工事特性ゾーン」、「津波啓発ゾーン」の4つのゾーンに分けて事業の説明をしています。見どころは、「水門工事ゾーン」のVRにより3次元空間で水門のイメージを立体的に体感できることです。

インフォメーションセンターの見学は事前予約制(平日のみ)で、対象は浜松市内にお住まいの10名以上の団体に限定させていただいています。また、通常は閉館しておりますのでご注意ください。



位置図



インフォメーションセンター内の様子



VRを体験する見学者

馬込川水門チャンネル(YouTubeチャンネル)開設

馬込川水門の建設事業を広く皆さまにお伝えし、理解を深めていただくために、YouTubeチャンネル「馬込川水門チャンネル」を開設しました。水門工事の進捗や津波減災効果を伝える動画に加え、水門建設を通じた建設産業の魅力を伝える動画を配信していきます。

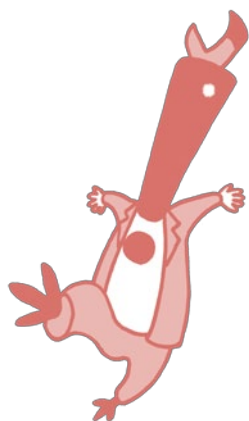
チャンネル開設と同時に、VRとARで馬込川水門の大きさや特徴を体感できる視察の様子や工事の特徴を紹介する動画を公開しました。

今後は、以下のようなラインナップで毎月1本程度の動画を配信していく予定です。チャンネル登録よろしくお願いします。

配信を予定している動画のラインナップ

工事進捗等	建設産業の魅力発信
地下深い掘削工事	鋼管杭のプロフェッショナル
コンクリート打設の様子	現場監督の日常
水門のゲート制作の工場に潜入	働く人々へのインタビュー
水門工事で使う最新技術の特集	鉄筋組立のプロフェッショナル

YouTubeチャンネルへの
リンクはこちら



「美しいふじのくに」インフラビジョン
キャラクター「インフラミンゴ」

わがまちの 川自慢



静岡市

静岡市葵区のあさはた緑地は、「自然とふれあう体験型の都市緑地」をテーマとして、昭和49年の「七夕豪雨」を契機に静岡県と静岡市で巴川流域の総合治水対策で整備した「麻機遊水地（第1工区）」に位置しています。

普段は市民の憩いの場として、大雨などの出水時は人命と財産を守る遊水地（大雨の際に巴川の氾濫を防ぐために一時的に水を貯める施設）としての役割を持つ特殊な緑地です。

思いっきり遊べる芝生広場や遊具、自然と触れ合える農園や小川、麻機遊水地やあさはた緑地の魅力発信を行うセンターハウスがあります。また、季節に合わせたイベントを開催しており、緑に囲まれた園内では植物観察、昆虫採集、魚採りなど、自由に自然と触れ合うことができます。

あさはた緑地で遊びながら学び、新しい発見や素敵な時間をお楽しみください。



あさはた緑地 全景



休日の様子



ミズアオイ観察会

【お問合せ先】 静岡市緑地政策課 TEL:054-221-1251

清水町

富士山に降った雨や雪どけ水が、湧き出す水と緑に彩られた清水町。

湧水を源とする河川の一つに清水町と三島市の行政境にもなっている境川があります。その畔には、行政と地域の関係団体が一体となり整備した丸池公園（清水町）・清住緑地（三島市）があります。

丸池公園・清住緑地は、湧水に触れることができる親水池や散策路が整備され、春には桜と富士山のコラボレーションが美しく、丸池の水面に映る逆さ富士や、かわせみが飛来するため、多くの写真家にも人気です。

町民はもとより、町外からも多くの方々に来園いただき交流の場となっております。

丸池は、周辺地域に農業用水を灌漑するためのため池で歴史は古く、戦国時代にこの池を治めていた戦国大名、後北条氏が発給した朱印状に丸池の建設に関する記述が記されています。



丸池と富士山



丸池と富士山（拡大）



親水池

【お問合せ先】 清水町都市計画課 TEL055-981-8224

河川堤防のリモコン式草刈り機による除草

県では、河川堤防の除草の効率化を図るため、遠隔操作により効率的かつ安全に施工が可能であるリモコン式草刈機の導入を進めています。昨年度から試験施工を実施しており、県が管理する河川堤防への有用性が確認できたことから、今年度予算にて、8台のリモコン式草刈機を購入しました。

また、富士市の伝法沢川調整池等において、地元の建設業者や住民の方々を対象とした「リモコン式草刈機操作説明会」を開催し、実際に機械操作を体験しながら、操作方法を学んでいただく等、積極的な活用を進めております。

今後、購入した機械をより有効的に活用していくため、県発注工事での利用に加え、幅広い活用を進めていきたいと考えています。



リモコン式草刈機



説明会の様子

「奥野ダム一日ダム教室」(7月27日開催)

奥野ダム一日ダム教室は、ダムの構造や役割について理解を深めてもらうため、「河川愛護月間」(7月)と「森と湖に親しむ旬間」(7月21日～31日)に合わせ、ダムを一般に開放する取り組みです。

当日は猛暑ではありましたが、好天に恵まれ、ダム底の監査廊や管理用小水力発電設備の見学のほか、東部農林事務所の木工教室、伊東建設業協同組合の工事用車両の体験と展示、静岡県測量設計業協会東部支部の測量体験やドローンの展示飛行、伊東囃子保存会による和太鼓演奏などのイベントが行われ、静岡県内外から子どもを中心とした235名の方々に参加していただきました。



ダム底アドベンチャー (監査廊見学状況)



建設機械乗車体験 (重機乗車状況)

静岡県河川協会事務局より

- ◇令和5年度静岡県河川協会総会は、6月に開催を予定しております。
- ◇静岡県河川協会では、協会の概要や活動報告の他、河川に関するイベント情報やコラムなど、様々なコンテンツをホームページで公開しています。県内河川や海岸に興味を持っていただける内容になっています。ぜひご覧ください！

☆静岡県河川協会ホームページ☆
<https://shizuoka-kasen.com/>

静岡県河川協会



【連絡先】

〒420-8601
 静岡市葵区追手町9番6号
 静岡県河川協会(静岡県交通基盤部河川砂防局内)
 TEL:054-221-3032 FAX:054-221-3260
 E-mail:kasenk_shizuoka@yahoo.co.jp



公益社団法人 日本河川協会 個人会員募集のお知らせ

公益社団法人 日本河川協会では個人会員の募集をしております。

詳細につきましては下記宛にお問い合わせ下さい。

お問い合わせ先／公益社団法人 日本河川協会
 〒102-0083
 東京都千代田区麹町2丁目6番5号
 麹町E. C. Kビル3階
 TEL:03-3238-9771
 FAX:03-3288-2426